



「笑顔とつながり」

永田台

ユネスコスクール11周年

No.554 2月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和4年2月4日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



便利な道具だからこそ

校長 武山 朋子

今月の学校だよりは、1月末から学級閉鎖が続いたため様子を見て配布することにいたしました。そのためいつもよりも少し遅れてお届けしています。

オミクロン株の感染力の強さについての報道は、決して誇張ではなかったことを目の当たりにした1月末でした。ほぼ同時期に、同じ横浜市内の多くの学校で学級閉鎖や学年閉鎖、中には学校閉鎖を余儀なくされたところも少なくなく、感染拡大の勢いの強さに圧倒される思いです。学級閉鎖でお子さんのお迎えをお願いしたり、数日間お仕事を休まざるを得なくなったりと、保護者の皆様にたくさんのご苦労とご心配をおかけしました。地域にはお年を召した方もたくさんいらっしゃいます。このまちで感染が広がることは避けたい思いでいっぱいです。

こうしたぎりぎりの状況ではありましたが、かがやき祭につきましては、卒業前の6年生の発表だけは保護者の方に直接ご覧いただくことができました。5年生以下の発表は、動画に収めてありますので、感染状況がおさまりましたらご覧いただく機会をもちたいと考えております。どうかご理解ください。

家庭学習の状況が増えたことにより、学年や学級に合わせて、タブレットを使ったオンラインでの朝の会や授業を行うことにしました。9月の分散登校の際はまだ子どもも教員も使い慣れていなかったのですが、学校で様々な学習場面で使用することによりすっかり慣れ、とても上手に使えるようになっていきます。



学級閉鎖中の教室から担任の声が響いているのでぞいてみると、教室のテレビ画面には子どもたちの笑顔が並んでいます。背景が映り込まないように気を付けたり、自分の発言中以外はマイクをオフにしたりして、ルールを上手に守って話し合っています。別の教室では、黒板を映すタブレットが教室に鎮座しています。実はその映像を通して自宅で板書を見ている子どもが、教室にいる子どもと一緒に授業に参加しているのです。放課後には、アプリを使って出された宿題に取り組んだ子どもたちから、さっそく答えが提出されているクラスもあります。技術革新は進み、実に便利な「道具」を子どもたちも手にすることができました。

「デジタル技術は指先一つで自分の人生や他人の人生を変えてしまう力をもつ。だからこそ、正しいかどうかを常に考えるんだ。」ICT 担当職員が紹介してくれた言葉です。とても考えさせられます。便利だからこそ、決められたルールを守るだけではなく、子ども自身が正しい使い方を判断できる力を身に付け、上手に活用して行ってほしいと思います。この機会にどうぞご家庭でも、一緒に話し合っただけますようお願いいたします。